

注目の「Airシフト」導入店取材

うなぎいもストア in TOKYO

やりとりも作成もラクになるシフト管理サービス

AirSHIFT

地域ブランドアンテナショップ
スタッフ数/社員1名、アルバイト6名
うなぎいも協同組合 うなものマネージャー
東京店店長 松永真子氏



シフト作成時間は15分

『Airシフト』の導入により、接客のクオリティを維持しながらスタッフの働きやすさへの配慮も両立

「うなぎいも」というサツマイモのブランドをご存じだろうか。静岡県浜松市に位置する浜名湖。その名産であるウナギの骨や頭といった普段捨てられてしまう部分を肥料として使用し、育てたサツマイモのことをいう。古くから遠州と呼ばれるこの地域ではかねてよりサツマイモの栽培が盛んで、郷土食材として親しまれている。

こうした歴史的な背景も含めて「うなぎいも」の魅力を発信するため、21年4月に東京・戸越銀座に開業したのが、「うなぎいもストア in TOKYO」だ。同店を展開するのは、うなぎいもの生産者で構成されるうなぎいも協同組合。現在、同店の店長を務める松永真子氏は出店の経緯を次のように話す。

「もともと浜松サービスエリアなどの売店で、地域ブランドのサツマイモであるうなぎいもを使ってお土産を販売していたのですが、コロナ禍でお客様が激減し、このままではうなぎいもの魅力を発信する場がなくなると危機感を抱き、東京への出店が決まりました。出店後もなく、新しいメニュー開発のためにクラウドファンディングを実施したところ、開始1日で100%を達成し、ソフトクリームやシェイクなどのカフェメニューを充実させるとともに、うなぎいも同店の認知を広めることができました」（松永氏）

うなぎいものゆるキャラ「うなも」も人気で、現時点でファンクラブの会員数は130人。今では地元の方だけではなく、そうした失敗を防ぐことができるので、結果的に私の心理面での負担も軽くなっています」（松永氏）

く、ゆるキャラファンの方が地方から同店に訪れるという。

メッセージ機能を使い仕事とプライベートを区別、スタッフの心理的負担軽減に貢献

関東で一番長いといわれる戸越銀座商店街の一角にある同店では、イトインスペースが用意されているが食歩歩きやギフトの需要も高い。また来店のリピート率が高く、顔見知りのお客様も多い。そのため、松永氏は店舗運営において接客のクオリティを重視している。スタッフには、笑顔や言葉使いなどの基本から、混雑時にできるだけお客様をお待たせしないよう臨機応変に動けるための技術習得を心掛けてもらっている。

同店の営業時間は、3〜11月は10時30分から19時30分まで。12〜2月は閉店が30分早まり19時まで。現在は松永氏の他に6人のアルバイトスタッフが運営しており、スタッフは販売・接客と併せて簡単な調理補助も行う。

1日のシフトは、平日は「10〜15時の早番」と、「15〜20時の遅番」で1人ずつの2人体制。土・日・祝日は「12〜17時の中番」に1人もしくは2人が加わる。オープン当初は松永氏と固定シフトで働くスタッフ1人で運営していたこともあり、紙でシフトを作成していた。しかし、同店の認知が進み業務が忙しくなってきたためスタッフを増やすことになり、それに合わせて株式会社リクルートが提

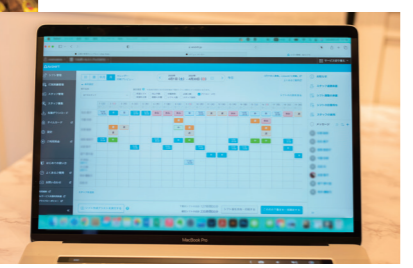
供するシフト管理サービス『Airシフト』を22年5月に導入した。「導入する際にまず無料体験期間で試したのですが、スタッフ全員のシフトの情報を一覧で見ることができ、固定シフトを希望するスタッフに関しては一度入力するだけで翌月からも自動反映されるなどとても使いやすく、シフト作成が15分程度で終わることから導入を決めました。

一番人気は「うなぎいもモンブランソフト」。うなぎいもを使用した濃厚なソフトクリームに、焼き芋ペーストをたっぷりかけたスイーツ



同店ではタイムカード機能も活用。シンプルで分かりやすく、紙のタイムカードを管理・修正する手間が発生しない点も『Airシフト』のメリットだと松永氏は話す

『Airシフト』でのシフト作成時には、混雑が予想される時間にスタッフの人数を確保すること、休みの希望にできるだけ応えることを意識している。また、『シフトボード』は「希望シフトを提出しやすい」とスタッフからも好評だ



もともと、ゆるキャラ「うなも」のマネージャーとして主にPRを担当していた松永氏。『Airシフト』の導入でシフト管理とシフト作成に関する心配がなくなり、初めての店舗運営の不安も和らいだという

また、スタッフの働きやすさのためにも仕事とプライベートをきちんと分けられるようにしたいと考えていたので、チャットアプリを使わなくても『Airシフト』でメッセージのやりとりができる点も大きなポイントになりました」（松永氏）

『Airシフト』では、連携しているスタッフ用のシフト管理アプリ『シフトボード』を使って、スタッフは希望シフトを提出する。管理者側がシフト変更などの依頼をする際には、メッセージ機能を使ってコミュニケーションが取れるので、プライベートで利用するチャットアプリを仕事で使いたくないと考えるスタッフにとってはストレスが少なく好評だという。「長く働いてもらうためにも、できるだけスタッフが気を遣わなくてもよい職場環境を整えたいと考えています。シフト作成に関して言えば、スタッフは一人ひとりでライフスタイルが異なりますし、私が誤ったシフトを組むとスタッフに迷惑をかけてしまいます。『Airシフト』の導入によって、きちんとスタッフの希望シフトを把握しながらシフト作成がで

き、そうした失敗を防ぐことができるので、結果的に私の心理面での負担も軽くなっています」（松永氏）

空き時間にシフトが作成でき、業務の効率化が実現

同店では、2週間ごとにシフトを作成。スタッフには、前月10日までに休みの希望を、20日までに希望シフトを『シフトボード』から提出してもらう。

『Airシフト』では、シフト表にそれぞれが自動反映されるため、人員の過不足を調整する程度でシフト作成が完了する。「営業時間中ちよっと手が空いたタイミングにシフトを作成できるので助かります。店舗の場所柄、平日の日中でも忙しくなる時間帯があるのですが、そのようなときにはお客様の接客に集中して、落ち着いたらシフト作成と、業務のメリハリをつけやすくなりました」（松永氏）

また、ゆるキャラ「うなも」のマネージャーも務める松永氏。イベント出店時には松永氏が必ず同行するため、期間中はスタッフのみでショップを運営することになる。「これからは『うなも』と一緒にイベントへ出店する機会が増えていくことも予想されますが、スタッフが増えても『Airシフト』があればシフト管理・作成を簡単にできるので非常に心強く感じています」（松永氏）

『Airシフト』の導入でシフト管理と作成の効率化が実現し、そのことが店舗運営の安心にもつながっている。

うなぎいもストア in TOKYO

東京都品川区豊町1-5-5
営業時間：10時30分〜19時30分
定休日：不定休
<https://www.unagiimo.com>

サポート体制

『Airシフト』への登録後は、専門スタッフによる電話での導入サポートを実施。操作に困ったときには気軽に相談できる体制が整えられている。

お問い合わせ先
Airシフト ヘルプデスク
電話：0120-759-225
(平日10時〜19時)
<https://faq.airshift.jp/hc/ja/requests/new>

シフトボード

スタッフ用シフト管理アプリとして
圧倒的な人気の無料アプリで、
ダウンロード数は900万以上*

『シフトボード』上で、店舗が用意する二次元バーコードを読み込むだけで簡単に連携、シフトの提出・確認ができる他、店側とチャットでやりとりが可能。
また、一度追加したシフトは履歴から素早く複数追加できるなど、管理も楽に行える。毎月の給与を自動計算してくれる機能など、スタッフが欲しい機能を網羅している点が、圧倒的な人気を誇る理由だ。 *2022年11月末時点